

新人聞民

発行所 人民新聞社

1部 150円 購読料半年間 3,000円
本社 〒552-0023 大阪市港区港崎3-3-18 1F
TEL (06) 6572-9440 FAX (06) 6572-9441
Mailto:people@jimmin.com URL:http://www.jimmin.com 振替口座 00950-4-88555

The JIMMIN-SHIMBUN

3-3-18 1F Kousei, Minato-ku, Osaka, Japan.
TEL 06-6572-9440, FAX 06-6572-9441
E-mail people@jimmin.com
Subscription: One year 6,000 yen
(include air mail postage)

HEADLINE

- 【2面】下層からの反グローバリズム-もたざる者の国際連帯-なすび
- 【3面】中国・有機農業基礎に持続可能な農村再生/時評・短評 有機農業プロジェクトをよるしく-五味正彦
- 【4面】アジア農民交流から見てきたもの-松平尚也/バリアのない街-介護を仕事にする人の私的介護とは?-遙矢当
- 【5面】今パレスチナでは-イラン大統領によるホロコースト否定発言は、アラブ・パレスチナの闘いの正当性を傷つける
- 【6面】追悼・田中義三-前之園紀男
- 【7面】大阪・長居公園テント村強制排除の背景-警察・司法・行政の連係プレー

【新年特集】

世界の同時代性

もたざる者 自律的空間 農業

新年特集は、3つのキーワードを使って「世界の同時代性」を捉える。キーワードは、「もたざる者」・「自律的空間」・「農業」。経済のグローバル化で、情報と商品によって国境はなきが如くだ。米国に寒波が訪れると中国にあるコート生産工場がフル稼働。内陸部からの出稼ぎ女性労働者は連日残業となる。世界は一体化している。

我々は事実としては、同じ瞬間を生きているが、特に近代以降は資本主義経済と植民地支配にともなう経済格差が激化し、「文明と未開」「宗主国と植民地」「南と北」と、差異と遅速に目を奪われてきた。

一方、「もう一つの世界」を求める闘いは、旧植民地の民族解放闘争として大きく花開いた。しかし、S・アミンやA・G・フランクら従属派が描く世界像=世界を「中心と周辺」として捉える=では説明しがたい現実が、経済のグローバル化の中で生まれた。「周辺」の中に中心が生まれ、「中心」の中にも不安定化し周辺化された人々が膨大に生み出されてきたからだ。もはや周辺は、第三世界に限らず世界いたるところに存在する。

「新自由主義」といわれるむき出しの資本主義が世界を覆い、これに抵抗する人々は状況の違いよりも課題の共通性を見だし、期せずして同じ営みを行っている。

「もたざる者」の連帯

「もたざる者」とは、野宿者、不安定雇用労働者、移住労働者、障害者、民族的マイノリティ、性的マイノリティ、獄中者など、社会的排除を受ける多様な人々を総称する。「もたざる者」という概念は、階級・民族・性別・国籍を超える横断的、共同闘争の基礎を提供した。国内で課題を超えた共同を

作り出すとともに、野宿者運動・土地なし農民などの国際共同行動も作り出している。最下層からの反グローバリゼーションである。

自律的空間の創造

世界各地で資本主義とは違う経済活動を含んだ「陣地」形成が進められている。貨幣を媒介にしない経済活動を拡大するとともに、市場価値ではなく

公正性や、生産者が持続可能な生産費を消費者が分担するという考えなど、その地域やアソシエーション(共同体)に見合った多様な価値の基準が生み出されている。

自律的空間内では、代議制を超えた参加型民主主義が実験されている。ブラジル・ポルトアレグレ市の参加型予算のよる自治体行政を含んだ実践は、大きな示唆と影響を与えている。

「農」基本の地域再生

自律的空間の創造において、有機農業を基礎とする実践は重要だ。そもそも農業は、「利潤」「効率」という市場的価値に馴染みにくい。持続可能な農村開発を目指し、中国・農村部で活動する袁さんは、「中国人口の七割を占める農村が米国や日本をモデルとすれば世界中のエネルギーを吸い尽くして

しまう」と指摘。地域循環で風土に根ざした省エネ型の農村開発モデルを作り出そうとしている。

有機農業を基礎とした地域の再生は、「安全・安心」を求める都市消費者と連携し、持続的営農と、開かれた地域作りを可能としている。

三回連載で、もたざる者・自律的空間・農業をキーワードにした世界の同時代性を探る。(編集部)



06年は南米に新しい動きが広がった。樋口篤三さんも書いているように反米左派政権の連続誕生がうれしい。チェ・ゲバラをはじめとする各地の武装闘争による政権奪取が失敗し、選挙で勝利したチリのアジェンダが殺されるなど反革命軍部の力は不動に見えていた▼新自由主義は南米を収奪の場として遠慮のない攻撃をしかけたことを、人びとは座視しなかった。イラクで手いっぱいアメリカが、軍事介入、経済介入を露骨にできなくなったことが一因でもあるが、私はもう一つの側面に注目したい。かつての左派政権は、理念は正しくても、経済運営がいま一つであったり、反対派を弾圧するだけで批判を許さなかった。「左の独裁」ともいわれ、アメリカの介入を招きやすい政治をしてきたのに対し、キューバをはじめとして今の政権は違う▼ソ連が理念優先の集団生産や大量生産によって資本主義と競争しようとして失敗したことを受けて、キューバは石油のいらぬ国、有機農業の国を目指している。ブラジルでも、ベネズエラでもボリビアでも、その国の実情に見合った『適正技術』による経済運営をし始めた。今年は、日本の運動にとっての『適正技術』を見つけない。(A)

グローバリズムの盟主アメリカのアフガン、イラク戦争の失敗はもはや明白だ。中南米の一連の反グローバリズム革命も急速な勢いで台頭している。だからといってそんなに早いテンポでグローバリズムが衰退し、人民革命の時代がすんなり到来するとは考えられない。それはかつて社会主義諸国の台頭に驚喜し、社会主義世界体制の到来と錯覚した同じ過誤を繰り返すだけである▼アメリカ、イギリス、日本の資本主義が後退しても、それに代わって中国、ロシア、インドの資本主義が勃興してくればグローバリズムの主導権が変わるだけのことだ。反革命は資本主義の常とう手段であり「テロ戦争」を名目にグローバリズム連合軍は反グローバリズムの国や人民を核戦争で脅してくるだろう▼早い話が、労働現場では労働側の「職場要求」は資本側の「改革」「改善」の推進に変わり、地域社会では「生活要求」が「治安対策」「テロ監視」の推進に変わっている。問題は職場と地域の主導権を労働者が握るか、資本家が握るか。この勝負に勝たねば事態は変わらない。(F)

農業政策が激変する。規模による選別政策、そして集団化・法人化という方向は、WTOや自由貿易協定の流れの中で、展望があるわけでない▼このさなか、官僚の抵抗を抑えて有機農業推進法が成立した。草の根レベルで検討を重ねた法律試案がもとになり、超党派の有機農業推進議員連盟とのやりとりを経て、評価できる点を織りこんでいる▼これは理念法であり、具体的な政策は、国の基本方針と都道府県の推進計画にかかってくる。この県別計画を有機農業の理念にもとづき、地に足をつけて提案する主体が各地にうまれつつある▼いつも国・県の政策は役人の作文で役にたたないという既成概念に囚われていては、この時代を主導することはできない。グローバリズムの激流は保守層内部にも深刻な亀裂を作り出しているし、野党にも分解と再生を促している▼この亀裂の中で生み出された草の根民主主義にもとづく活動を生かしたい。有機農業を農業の一分野に閉じ込めず、教育・環境・健康・食料についての具体的でトータルな地域社会ビジョンとして示す努力をしてみよう。(I)

2007年はどんな年になるのだろうか。アメリカ帝国の顕著な凋落と「市場経済」の化けの皮がますます剥がれる年であることを願う。泥沼化するイラク戦争。南米での反米政権の力強い動き。食糧を含めた資源争奪戦の激化。不公正交易・暴力的な支配に対する抵抗の増大。確実に1990年以降アメリカ帝国が主導してきた世界形成の流れに大きな変化が生まれている。21世紀に入って「希望の世紀」と多くの人々が期待した。それを台無しにした「9.11テロ」が自作自演であったという告発を支持する。その後の展開を見れば証拠など不十分でも大いに理に適った告発である。その演出も行き詰まったのが2006年の特徴。また、「自由経済」なるものなど、幻想を撒き散らすだけで、いまだこの世に存在した例はない。支配的な権力が「誰にも邪魔されない自由な振る舞い」を可能にする仕組みと言い換えるべきである。あらゆるものを商品化しようとする運動は人の関係・自然との関係の破壊が必須の条件。しかし、あらゆるものを商品化などできない！関係を破壊し尽くすことなどできない！わけで、逆の流れをどう豊かなものに創っていくのが何よりの課題。(S)

「もう、たくさんだ！」—新自由主義との決別を訴えて1994年1月に武装蜂起したサバティスタ民族解放軍が「われわれ持たざる者は無数にいる」(ラカン・密林宣言より)と、もたざる者の連帯を世界に呼びかけた。

「もたざる者」とは、日雇・野宿労働者、非正規・不安定雇用労働者、移住労働者、失業者、障害者、民族的マイノリティ、性的マイノリティ、獄中者(支援者)など、社会的排除を受ける多様な人々を総称する。日本でもようやく「もたざる者」は言葉としても認知され始めてきた。

もたざる者の国際連帯行動を呼びかけたなすびさん(山谷労働者福祉会館・活動家委員会)に話を聞いた。(編集部・山田)

下層からの反グローバリズム運動

「もたざる者」の国際連帯

山谷労働者福祉会館活動家委員会 なすび

【新年特集】



世界の同時代性



なすびさん
(山谷労働者福祉会館にて)

日本における「もたざる者」の反グローバリゼーション運動は、二〇〇三年一〇月に「もたざる者」の国際連帯行動として産声を上げました。スローガンは、「戦争と新自由主義グローバリゼーションをNO」社会的排除に抗して国境を越えた連帯を—。

以来毎年一月には、社会的排除と闘う多様な団体個人が一堂に集まり、各々の課題の垣根を越えて、共通の背景である新自由主義の暴力と不正な社会に抗議する集会・デモを行っています。

二〇〇三年、ポルトアレグレで行われた世界社会フォーラム会場で「もう一つの世界フォーラム」が行われました。「声なき者の第一回世界会議」です。企画したのは、MNL M(ブラジルのホーム

注目すべき アジア コミュニティ 活動

ブラジルからMST(土地なし農民運動)活動家を山谷招いて交流したのですが、彼らのコミュニティ活動が、野宿者のテントコミュニティ形成と共通点が多く、活動家よりもむしろ野宿当事者が共感し意気投合しました。

何もないところから自分たちの空間を切り開くという共感でしょう。土地を占拠して家族を生活させながら学校・病院を作り、独自のコミュニティを創りあげるといいう活動が、テント村の実践の先にあるものと感ぜられたのかも知れません。

日本のテント村は、まだ生活助け合いというレベルですが、MSTはそうしたコミュニティ活動の中で明確

な政治意識を創りあげ、面的広がりをもった「もう一つの世界」を創りあげようとしています。

こうしたコミュニティ活動は、東南アジアでも活発に発展しています。都市周辺のスラムが再開発で立ち退きを迫られるという事態が頻発していますが、フィリピン・マニラ周辺をはじめスラム地域でのコミュニティ活動は歴史も蓄積もあります。

LOCOA(アジア・コミュニティ活動支援機構)は、タイ、香港、インドで活動を開始し、フィリピン、韓国、パキスタン、インドネシアへと広がっています。各国のコミュニティ活動の経験を交換し、コミュニティ・リーダーを育て、組織作りを支援しています。

こうしたアジアの「もたざる者」の連帯こそが実践的だ。反グローバリズムで議論すると、彼らにとつて加害国は、米国ではなく日本の企業と政府が目前に立ち現

れるグローバリズムだと指摘されます。アジアに進出する企業は国内では無茶苦茶なりストライキをしている企業です。我々が国内の本社に押し掛け抗議するという活動も重要な下層の国際連帯行動でしょう。

昨年一月にも国際連帯行動に取り組みましたが、二〇〇三年発足当時からの変化は二点あります。まず、参加者が層として広がってきたことです。当初は活動家の集まりでしたが、フリーター・失業者も含め広がりが感じられます。二点目は、韓国労働運動や仏・NOVVOXとの継続的な共同闘争が反映しています。具体的には韓国・民主労働者の建設産業連盟(日雇い労働者が多く含まれる)からは、籠城闘争現場(ソウル・オリンピックブリッジ)からの連帯

請け機関化です。「野宿者がなぜ生み出されていくのか?野宿者を生み出すシステム全体を問題にし、切り込むような運動でなければならぬ」との問題意識もありました。

根本的な問題解決に向けてシステム全体を視野に入れた共同の取り組みという枠組みが「もたざる者」といいう言葉で提起され、「もたざる者」として横につながる基礎が生まれました。

「もたざる者」という言葉や考え方は、数年前で日本でも定着し広がっています。しかしこの変化は、運動の発展というより、新自由主義改革がそれぞれの生活レベルにおいて深刻な問題になっているからでしょう。

障害者自立支援法はその典型です。戦後積み上げてきた諸権利を新自由主義的価値観で丸ごと変えてしまうような内容なのです。

格差社会の定着は誰もが危惧する問題となりました。先進国の中で階層化され、最貧困層が定着する時代に入っていることの反映です。

アピル、仏・NOVVOXからは、長居公園強制排除への抗議活動をフランスで準備しているという内容でした。形式的な挨拶ではなく、共に運動を継続している仲間としての熱いアピルでした。

今もつとも注目すべきは、若年の不安定雇用労働者でしょう。これほどひどい状況ながら権利要求運動は立ち上がっています。必然的にそうした運動は生まれるでしょう。これがもたざる者の運動の大きな一翼となるよう支援も必要です。他国でも若年失業者・不安定雇用労働者が運動の軸になっているのは同じです。

今も障害者自立支援法に反対する運動をはじめ新自由主義改革に反対する運動が起っています。それぞれが「もたざる者」じゃないかという共感を持つてつながっていくならば、大きな社会運動として登場することになると思います。

着し広がっています。しかしこの変化は、運動の発展というより、新自由主義改革がそれぞれの生活レベルにおいて深刻な問題になっているからでしょう。

謹賀新年

今年も共に頑張りましょう!

関西よつ葉連絡会

株式会社 府南産直センター

代表取締役 渡邊 了

〒590-0132

大阪府南区堺市原山台一丁目一四二
電話(072)296-1350
FAX(072)296-1350
URL <http://www.yotuba-funan.com>

つながりを力に今年もがんばりましょう

(株)産地直送センター

大阪府東大阪市西宿二丁目一五五
電話(072)727-7770
FAX(072)727-7770

多田諒子反権力人権賞受賞しました

救援連絡センター

〒105-0004 東京都港区新橋二丁目一六
電話(03)359-1130
<http://kyuenidinfoseek.co.jp>

北摂・高槻生活協同組合

坂田 幸二

大阪府高槻市大字原一三〇四
電話(072)688-4878
FAX(072)688-4878

健康に
頑張ろう!

よつ葉ホームデリバリー川西

兵庫県宝塚市山本丸橋二丁目一〇九
電話(072)811-3378
FAX(072)811-3378

自動車解体事業を始まりました
協同自動車

代表取締役 大里 哲久

〒562-0033 大阪府東大阪市今宮三丁目一七番二号
電話(072)727-1180
FAX(072)727-1180

中国 有機農業基礎に 持続可能な農村再生

香港のNGO「アリーナ」ス タッフ袁月興さん(三三歳) は、中国本土農民技術支援を 目的とする「晏陽初鄉村建設 学院駐在スタッフ」だ。



「中国農村開発のゴールと して米国や日本はモデルと なり得ない。もう一つの開発 の行方を探りたい」と袁さん らの問題意識だ。

北京から南南西、定州市東 亭鎮翟城村の一角にある同 学院は、〇三年七月、中国人民 大学農業農村開発学部、温 贊同、当初は、香港で資金・

日本の森林があぶない

戦後全国で大量に植林されたスギ・ヒノキなどの人工林が、 手入れをされず、使われないうちで山の中で立ち往生して、賞味期 限が切れかかっている。

このままでは日本の森林があぶない、今必要なのは、こう いった国産の木を、家を建てる材料としてだけでなく、私たち の暮らしの周辺にいろいろ活用して、そのお金をまた山に還元 する、循環型林業の成長を促すことだと考えた。

有機プロジェクト誕生

そんな状況をみつめながら、二〇〇五年一月、高 度経済成長以前に天然の防虫剤として使われてきた 楠からつくられる樟脳の復活、開発を提案したこと に端を発して、全国森林組合連合会・全森連の紹介 で宮崎県日向の林業家たちと出会うことになった。

出会いは出会いを、想いは想いを、情報は情報を呼 んで、日向で楠の木から樟脳をつくるプロジェクト が始まり、二〇〇六年四月、東京(関東)でも企画開 発のチームが発足したのである。

樟脳プロジェクトとして、有機林業へ

樟脳プロジェクトによって都市部と地域の連携・協働の高い

時評

短評

私の直言

資材を集め、送るといふ側面 支援だったが、「金品サポート では不十分」と、一年前から袁 さんが現地駐在スタッフとな った。

「農村は、近代化に遅れた地 域と見なされているが、農村 開発を、資本主義的な『利潤』 『効率』という観点から捉える かぎり、持続可能な開発の ゴールは見えなくなる」とい うのがアリーナ並びに温鉄 軍教授らの共通認識だ。アジ ア通貨危機をはじめ資本主 義経済が動揺するたびに近 代農業は崩壊の淵におい込 められ、多国籍アグリビジネ スの支配が強まってきた。

「近代農業は、農業を使い、

地域の自立

有機農業が良いと言っても 農民がすぐに転換するわけ ではないのは、いづれも同じ。

「農民が収入面でも不安なく 生産できる仕組み作りが現 在の課題」と袁さんは言う。

中国の農業をめぐる状況は 非常に厳しい。この数年、中国 政府が政策の最優先課題と 位置づける「三農問題」とは、 「農業では食えず、農村は荒廃 し、農民は貧困に喘いでいる」 という事態を指す。

さらに人民公社時代「文化 革命の『思い出』があつて、『協

ことも覚悟する。

*利用者の関心を喚起するため、またトレーサビリティ確 保のためにも、製造・生産現場を見学し交流するツアー (エコツアー)を準備する。

*流通・販売にはアイディアを出しあい、顔の見える販売 を心がけ少量生産品のマーケットを確保する。

*林業現場などいわゆる過疎地が多いエリアに注目を集 め、現地で資金を落としてもいい地域にお金を還流する。 このような考え方を「国内フェアトレード」と呼ぶことにし た。

広がる「有機〇〇プロジェクト」

これまで続けてきた「有機本業」運動に由来し て、日向と東京の樟脳プロジェクトのような国 産材利用推進運動を、有機林業プロジェクトと 名づけた。

その他にも例えば既に一部ラインナップが 揃った服飾の「有機繊維」始め、有機香業(アロ マ・有機燃焼(ストロブ・有機園芸(ガーデニング)・有機旅業 (エコツアー)...)など、遊び感覚の「認証」マークをつけたプ ロジェクトが生まれつつあり、新しい出会い、アイデアがつき ない。

ちよつと大きな言い方だが、志を高く持ち、本物の物づく りと本物の売手の出会いを、五味とその仲間たちはプロデュースしている。すでに二〇名ほどのチームになっているが、企画、 編集、販売のサポーターも随時募集中。

資本主義の危機を どう生き残るか?

学院スタッフは、村の女性 グループの文化活動や村人 総出の雪かきに参加し、共同 作業の一端を担っている。

「地球の裏側でも同じよう なことをやっている」と袁さ んらが、ペルーでの有機農業 実践グループと交流した後 の感想だ。「中国市場化の奔流 の中で細々とやっていること 思っていたが、ペルーでも同 じ持続可能な農業をめざし て有機農業を基礎にした地 域作りが広がりをもち始め ているという。

インド・ケララ州では「人民 科学運動」と交流した。ケララ 州の平均所得は三〇〇\$/ 月程度。決して豊かではない が、医療制度・社会福祉制度が 充実し、乳児死亡率は低く、長 寿率と識字率は高いという。 社会運動と州政府(共産党)の 協力で「先進国」以上に生きや すい街を創りあげた。「所得を あげることが生きやすい豊 かな地域作りの絶対条件で はない」と確信したという。

同学院は「出稼ぎに象徴さ れるような都市に依存した 農村ではなく、農村が自立的 に豊かさを享受できるよう なシステム」をめざす。した がって開発モデルも都市で はあり得ない。むしろ「都市の 消費者を育てて継続的な安定的な関係を築いていくこと が必要」と袁さんは考えてい る。

有機林業プロジェクトをよりよく

目指すは「国内フェアトレード」運動宣言

有機本業発行所 発行人 五味正彦

フェアトレードが、それに近い形で原料を輸入

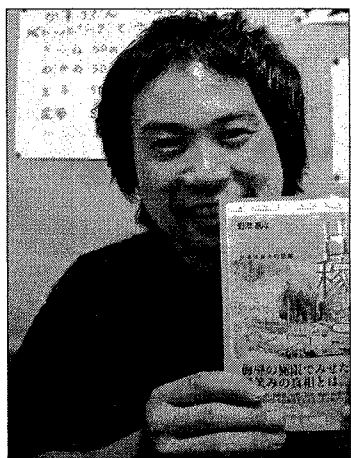
*石油系化学物質を可能な限り使わない「無添加製品」つ くりをする。

*大量・高速生産型ではない昔の技術を探し出し、復元し て活用する。

*材料から完成品までのトレーサビリティを明らかにし、 積極的に情報開示する。

*トレーサビリティを重視し、そのために価格が高くなる

アジア農民交流から見てきたもの

生産－消費の植民地的関係を
生活の視点から正し、
未来へつなげよう

▲松平さんが「関心を持って読んでいます」という『出稼ぎ—少年伐採夫の記録』(野添憲治・著/社会評論社)

「自給とはグローバルバーレーションへの抵抗であり、自身自身を守ることかもしれない」と松平尚也さんは語る。「どうやって資本主義的な大量生産／消費社会に頼らずに生きていけるか、アジアと日本農民の共通の課題としてあります」。

グローバル化の
なれの果て—日本

松平さんは、京都市右京区京北(旧・京都府北桑田郡京北町)で「一反の田と四反の畑を耕作している。アジア農民交流センター(以下AFECC)世話人。AFECCは一九九一年一月に設立された。個々の農

AFECCは、一九九〇年に

山下惣一さん(農民作家)や、山形の農民など、日本の百姓

のタイ訪問から始まりまし

日本でも株式会社へ農地を開放する動きがあり、決して他国の問題ではありません。

わずか数年の間で激減しました。日本の農山村というのはグローバル化のなれの果ての姿です。

日常の中にある
支配の関係

「食べるものがどこから来ているか？」と考えて来たことが、AFECCに関わるきっかけです。そこから日本の生活が外国に依存し、アジア農民に大きな影響を与えている現実が見えてきました。

一割も輸入している。特に一億人以上が栄養不足と言われる中国からほとんど食べ物を輸入している。一方日本では米が安いから田んぼがどんどん荒れていく。

私たちの生活は、資本や大規模消費に囲まれている。巨大なマスメディアにより、煽られる消費生活により、私たちの身体そのものがグローバルバーレーションによって消費されているとも言える。

AFECCのような生産者の側からの取り組みは新しい。こういった中からこそ、アメリカの一種集中支配に対抗する動きが生まれるに違いない。

昨年四月には、タイで土地なし農民運動を支援するNGO「北部開発機構」のスイス・ブサケンさんが来日。タイでは世界銀行により農地が市場化され、農地を失った農民たちが土地の占拠運動が起きました。サクンさんは、関西よつ葉連絡会などを見学して、協同組合の必要性を感じて帰国したようです。

合っていないなど、認知症特有の症状を見せていた。穏やかな表情が続いていたが、私が「お嬢さんを存じ上げております。お世話になりました」と伝えると、「あんな子

は知らない」と機嫌が悪くなった。これ以上の会話はコミュニケーションが悪化する。話題を変えて、改めて申込書の内容を見た。

友人には年の離れた姉がいたが、異母姉妹であった。父親は、若い頃奔放な生活を送っていたようで、生活歴にもその変遷がうかがえた。母親は彼女の実母だったが、二人の関係は認知症が発症する前から微妙な関係であったら

け。どっちも幸せではないが、リスクは圧倒的にアジアの農民や途上国側にある。暮らしの視点から交流して直すべき格差は正し、体を使って交流して未来を考えていく事が必要。そこから開かれる『連帯』から、自分たちの生活や地域の問題につながっていくことが大切です。

連載



はやと
遥矢当

21 介護を仕事にする人の
私的な介護とは？

「在宅診療テーマにした友人だっただが…」
彼女の勤める病院は、父子三代続いてきた。最近では「在

戸惑っていたが、入居契約の御礼を伝えると、笑い声が上がった。聞くと、七三歳の母親の認知症が進み、日中独りになる家庭環境では火の始末や戸締りなど不安という事であった。ここまでは、よくある話である。

彼女自身も往診に出かけ、NHKのドキュメンタリー番組で特集された。番組では、認知症の高齢者が、適切な介護と医療によって、自立した生活に近い生活が送れる姿が映し出されていた。高齢社会に希望が見出せる内容だった。

一週間後、彼女の母親に会いに行った。毅然とした態度だったが、やはり話の辻褄が合わない、衣服の着合わせが

ボランテア的要素が多い介護
私も母の死を経たばかりだが、仕事としての介護と、プライベートにおける介護は、大きく違う事が多い。

友人の場合は、お金で介護からにじみ出てしまう家庭内の「恥」を封じ込めよう、という事だった。

しいのだ。
ホームの関係者によると、母親は「離婚するか介護施設を探すか」の二者択一を迫ら

れたの入居であったという。友人は私に母親についてはあまり触れられたくない様子だった。介護の取り組みで

確かに、介護をお金で買う時代にはなった。ここでサービスを買う人たちにとって介護とは、安心などではなく、「介護を通じて恥ずかしい思いをしなくて済む」という事に他ならないのだ。実際、女医である友人は、介護を「ビジネス」と割りきっている。

介護とは、それ自体でボランティア的な要素の多い活動である。介護をビジネスとして割り切ってしまうと、プ



パレスチナ人活動家からイラン大統領への公開書簡

「ホロコースト否定」は 「いのちの正当性を傷つける」

マハムード・アル・サファディ

大統領閣下。

私はマハムード・アル・サファディです。PFLPのメンバーとして第一次インティファダでイスラエル占領軍への抵抗運動のために、イスラエル刑務所で一八年間も服役し、三ヶ月前に釈放されたばかりです。

私は、閣下が大統領に就任されて以来、ずっと閣下の発言、とりわけユダヤ人ホロコーストに関する発言を、大きな関心をもって追ってききました。私は、貴国に関して米

ストは存在しなかったと発言され、ナチ強制収容所や絶滅収容所で殺害されたユダヤ人の数に関して疑問を提起し、結果としてナチの歴史的犯罪を否定されたことには、激しい憤りを感じないではおれません。

大統領閣下、恐れながら閣下は、ナチの死の産業に関する知識を持たずに上記のような発言をされたのではないのでしょうか。反ユダヤ主義者の書いたもののかじり読みして発言されたのかも知れませんが、閣下の発言は、井戸の上で発言するのと同じで、巨大な反響を招きます。それは、ご自身ばかりか、閣下が敬愛するイラン国民にも跳ね返ることになります。

閣下や世界の多くの人々―悲しいことにその中には多くのパレスチナ人やアラブ人も含まれています―と同じように、私もユダヤ人は誇張してホロコーストについて嘘を言っていると思う

ていました。たとえシオニズム運動とイスラエル政府が、我々パレスチナ人弾圧政策のためにホロコーストを利用している事実があるにしても、ホロコーストを否定することはできないのに、それに無知でした。

長期にわたる刑務所暮らしの間に、たくさんの本や論文を読む機会があり、刑務所の外では凝り固まったイデオロギーや社会的規範のために接することができなかった多くの知識を得ることができました。

ナチ政権と彼らが行ったジェノサイドの歴史を知ったのもその時でした。一九九〇年代初め、パレスチナ人知識人エドワード・サイードやアズミ・ビシヤラを読んで、それまでの自分や多くの仲間が思っていたことは矛盾する歴史的事実や思想を知ることができました。私は、ホロコーストとナチ占領を生き延びた人々の書いた



▲ユダヤ人600万人、非ユダヤ人500万人が犠牲になったとされる

ものを読み漁りました。ユダヤ人だけでなく、非ユダヤ人の証言も読みました。知れば知るほど、ホロコーストがナチがユダヤ人、障害者やジプシーなどの社会的マイノリティ、及び人間一般に対して犯した人類史上最

大の犯罪であると思うようになりまし。『不純な人種』を物理的に消滅させ、他民族を隷属化することによってナチ・ドイツは、『純粋なアーリア系民族』が支配する『新世界秩序』を建設する野望を抱きました。『普通』の役所機関―官僚、司法制度、医療や教育、市町村役場、鉄道会社等々―も参加協力したことを知りまし。理論的には、このナチの野望は、アラブ人やイスラム教徒の存在をも脅かすもので、実際、ナチ占領軍の勝利がアラブ人を傷つけまし

人類史的不正を糾すために

どうか閣下、発言される前に、もう一度真剣に歴史を勉強なさってください。閣下は多分ホロコーストを否定すること、イスラム世界の前進に立って、米帝国主義や西洋覇権と闘う道具になると考えているのではありませ

んか。むしろ反対で、ホロコーストを否定することで、世界の人民の間に水をかけているのです。

反帝国主義闘争を闘っている世界の政治勢力の眼から見れば、現代世界にまだ深刻な影響を与えている自明の人類史的犯罪を閣下が否

も、驚き、怒る権利はありませ

ん。どうか次のように自ら問うてください。死の収容所ガス室、ゲットー、ドイツ軍による大量殺戮に関する何千、何万という証言、ドイツ軍が残した公文書に基づいた調査や映像フィルムの数々、これらがみんな捏造された偽りの『証拠』だということですか？

みな帝国主義的シオニスト的策謀だということですか？ナチ高官の犯罪告白はたわごとだということですか？ドイツ占領に対する英雄的な闘い―ロシア人の、ポーランド人の、ユーゴスラビア人の闘いもみんな嘘で

巨大な誇張だということですか？ソ連の反ナチ戦争も単なる幻影だということですか？

閣下は、ホロコースト否定が我々パレスチナ人の独立と自由を求める闘いへの支援表明になると考えているとすれば、大間違いです。我々は、生存するために、我々の権利実現のために、一九四八年に行われた人類史的不正を糾すために闘っているのです。我々に不正を加え、我々の土地を奪い、占領しているのはユダヤ人の一部であるけれども、ユダヤ人に対して為された人類史的犯罪ホロコーストを否定するようなことをしては、この正義の闘いに勝って独立を達成することはできないでしょう。

(有) 東大阪産地直送センター
代表取締役

地域が変われば世界が変わる
野口博文
〒578-0932
東大阪市玉串町東一三三〇
電話 (072) 681-6601
FAX (072) 681-6602
E-mail: higesosaka@kita-osaka.co.jp

ブレインセンター
社長・編集長

稲田紀男

大阪市北区天満四丁一三
電話 (06) 6355-1330
FAX (06) 6881-2630

一矢の会

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町一七六
渋谷協栄ビル三階
電話 (03) 3780-0993
FAX (03) 3780-0992

株式会社 現代書館

東京都千代田区飯田橋三二二五
電話 (03) 3221-1131
FAX (03) 3221-1132
http://www.gendaisha.co.jp/

松本法律事務所

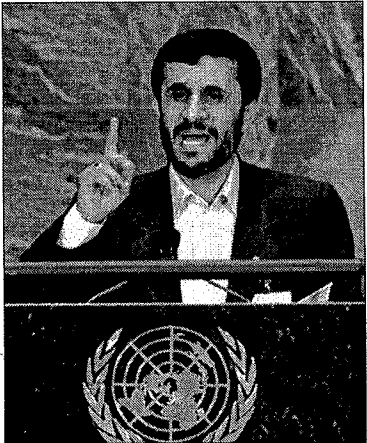
弁護士 松本健男
司法書士 長谷川達雄

大阪市北区西天満三丁目一四番一六号
電話 (06) 6361-7541
FAX (06) 6361-7546

加藤憲章

(有) 広島生き活き農産
広島県福山市柳津町四一七三三
電話 (084) 930-4546
FAX (084) 930-4547

翻訳／脇義明
いま
パレスチナ
では



▲アフマディネジャド
・イラン大統領

追悼・田中義三

二〇〇七年一月三日 前之園 紀男



田中。明日、焼酎持つて行くよ。煙草もな。ハイライトでいいか？アマリア・ロドリゲス、知っているか？ポルトガルの美空ひばりだ。フアドと言つてポルトガルの演歌を歌う人で、それは素晴らしい歌だ。レコード屋にあったら買つていく。娘さんたちにかけてもらう。お前の好きな歌も忘れたが奥さんにかけてもらつて聞かせてもらうつもりだ。

前の方が日本人の彼らに氣付いて声かけて、それで日本に二ユースが流れて、アメリカは手を引いたらいいな。そして宮崎ら支援者のおかげで無罪になつて。

二月はじめあたりに「お別れ会のようなこと」を考えている。みんなに相談して、多くの人に来てもらつて、お前はドンチャン騒ぎが好きだから、にぎやかにやればと思つてゐる。

七分間の正月はどうだった。二月一日に出で、たつた一六、七日間のシヤバはどうだった。俺はたつた一六、七日だったとどうにも思えない。一ヶ月はたつたような気がしてならない。

さつきタイはひどいと言つたが、日本もひどいな。囚人には成人検診もないんだから、殺されたようなものだ。東拘も建物は立派になつたが、全く日光を奪つたらしいから。面会などプラスティック越しの冷たさだ。タイの方がずつと自由だつたようだが、田中、お前は闘いの人間だ。闘いのまま墓場に行つたな。立派だ。小西から年賀状もらつた。田中のこと大変お世話になり感謝しています。くれぐれもよろしく願ひします。力になつて

腰の曲がった老人を

くびり殺す死刑制度

二月二六日は、新聞を届けられるのが遅かつたので、「さては、死刑執行の記事を塗りつぶしているのでは」と危惧して見ました。私が拘留されてゐる東京拘置所新棟の八階は、日本で一番死刑確定者の人口密度が高いところ。居並ぶ六五の独居房の半数近くが、そのようなので、

彼らは月三回、房内でビデオ映画を観ることが保障さ

死刑執行を糾弾する

東拘囚人 和光晴生



▲長勢甚速法相

才映画を観ることが保障されてゐます。電気コードが引き込まれた房があれば、確定囚の人がビデオ鑑賞中と判別できるので。袋貼り作業を房内でやつてゐる確定囚も一〇人ほどいます。一日六時間、昼寝なしで作業して何百円ほどの褒賞金です。

二人は三一年前と二五年前に強盗殺人を犯して、死刑が確定するにいたつたといふことです。この数年、確定囚が急増し、一〇〇人を超えそうになつたので、あわてて処刑したようです。二〇〇人を超えたら、死刑制度が成り立たなくなる、とか、未執行の判決が増えるのは異常事態だ、とか言われています。それらはタテマエというものでしょう。

現実には、腰の曲がった老人をくびり殺すこととしてあります。このような刑が残存していることこそ、異常なことです。終身刑の導入とかも問われていますが、「修復的司法」という観点から死刑に替わる解決策が立てられるべきです。

修復的制度の実現を

「懲らしめ」や「見せしめ」としての刑罰よりも、賠償とかを含む、修復の方途が追求されないものか、とつくづく思います。懲役労働にしても懲らしめのためでは、修復にも社会復帰にもつながりません。「被害」に對し、具体的に賠償するような労役の方が有益有効に思えます。現行の死刑制度も懲役制度もあまりに「無残」と言わざるを得ません。

死刑制度の廃絶を、死刑に代わる修復的制度的実現を。長勢法相はこれ以上、人を殺すな。

* 故 田中義三 友人葬 のご案内 *

田中を知る人も知らない人もお誘ひ合わせの上、ぜひご参加下さい。
時：2月4日 午後1:00 受付
場所：総評会館204号室（東京都千代田区神田駿河台3-2-11 TEL 03-3253-1771）
参加費：5000円（会場費、昼食費、懇親会の飲食費、etc）
問合せ：前之園紀男 TEL/FAX03-3929-0959

故 田中義三さんの略歴（参考・かりの会HP）

1948年7月23日、青森県上北郡大沢町生まれ。68年、明治大学政経学部II部入学と同時に学生運動に参加。69年、共産主義者同盟赤軍派加入。70年3月31日、よど号ハイジャック闘争で8人の仲間と朝鮮民主主義人民共和国に渡航。96年、カンボジアで米国により「ドル札偽造容疑」で逮捕、タイに強制連行、米財務省シークレット・サービスによる過酷な取調べ、起訴、裁判を経て99年6月、「完全無罪判決」を勝ち取る。2000年5月、日本政府の強制送還要求に対して自主帰国表明。6月28日、帰国と同時に「ハイジャック容疑」などで逮捕、起訴。02年3月、12年の懲役刑判決。03年4月、控訴審判決、控訴棄却。同年9月、熊本刑務所に。06年11月21日、末期ガンのため大阪医療刑務所に移送。重症認定、刑の執行停止、千葉の病院に移送。2007年1月1日、逝去。

謹 賀 新 年

今年も共に頑張りましょう！

地域から協働社会を創造するため
情報交流と理論作業に努めます
地域・アソシエーション
研究所

〒567-0827

茨木市稲葉町四一五三番
電話（〇七二）六三〇一五六〇七
FAX（〇七二）六三〇一五六七三
E-mail: local-association@groupemail.jp

宮崎 学

<http://www.miyazakimanabu.com>

(有)堀江現代経営

堀江 英世

公認 Risk Manager
〒756-0806
山口県小野田市中川二一三一一
電話（〇八三六）八三三二一八六
FAX（〇八三六）八三三二四〇八
E-mail: horieh@do6enjoy.ne.jp

能勢 農場

大阪府豊能郡能勢町山辺一七三二
電話（〇七二七）三四一七九七

(株)院食品

松本 伊史

〒621-0114
京都府亀岡市東院町
鎌倉中垣内六一
電話（〇七七）二七二七四〇〇
FAX（〇七七）二七二七四〇一

安全で新鮮なたべものを求めて

関西よつ葉連絡会

〒567-0827
大阪府茨木市稲葉町四一五
電話（〇七二）六三〇一五六一〇
FAX（〇七二）六三〇一五六〇六

大阪

警察・司法・行政の連携プレー

野宿者「強制排除」の背景

長居公園

吹き荒れる排除の嵐

「二月三十一日まで立ち退くこと。そう書かれた一枚の紙切れは昨年一〇月三十一日、長居公園のテント村二軒、全戸に配布された。このまあいけば、一月下旬にも強制排除を迎えるだろう。

私は、この三年間長居公園で生活してきました。今回大阪府が私たちの住居を強制撤去しようとしていることは到底納得がいきません。

そんなに私たちの存在が恥ずかしいですか？

大阪市の言い分は、以下のようになります。①テント村周辺が夜間暗いので、街灯設置などの整備工事が必要。その工事のため、テントを撤去する必要がある。

②大阪府は、代替住居として自立支援センターなどへの入所を勧めてきたから、強制撤去後に私たちが路頭に迷うことになるとしても、それは一切私たちの責任であり、大阪市の側に非はない。③そもそも、テントは都市公園法上の不法占有に該当するから、強制撤去が可能。

これに先立つ九月二十七日には、野宿者運動に取り組み活動家野宿当事者が、大阪府警によつて五名一斉に逮捕された。一人は釈放されたが、残り四名は起訴され、三カ月以上にとりこめられた。現住していたテントだけではなく、排除された野宿者のために引越先として別の公園に

大阪市は、昨年一月三〇日に大阪城公園うつぽ公園で暮らす野宿者を行政代執行により強制排除した。現住していたテントだけではなく、排除された野宿者のために引越先として別の公園に

「とんち」は世界に通用する

～前略、テント村から⑧私の声を聞いてほしい！(上)～

1月10日、長居公園テント村で暮らす久原さん(仮名・50才)は、立ち退きを求める大阪府に『弁明書』を提出した。2回にわたって彼の『弁明書』の全文を掲載する。(編集部)

1月10日、長居公園テント村で暮らす久原さん(仮名・50才)は、立ち退きを求める大阪府に『弁明書』を提出した。2回にわたって彼の『弁明書』の全文を掲載する。(編集部)

なぜそんなに急いで野宿者を排除しようとするのですか？国際的なイベントが開催される長居公園に野宿者が生活していることが、大阪市としてそんなに恥ず

私は三年前まで調理師として働いていましたが、失業が原因で野宿生活を始めました。万策尽き果てて、飯を食うために止むを得ず、生まれ始めて始めてゴミ箱に手を入れようとしたとき、私がどれほ

今、私は自立しています。自力で稼いでいます。アパートを借りて家賃を払えるほど稼いでいます。生きるために必死だったからこそ、それができたのです。決して好き好んでできることではありません。それでも何とか、廃品回収の仕事しながら食いつないでいました。

なぜそんなに急いで野宿者を排除しようとするのですか？国際的なイベントが開催される長居公園に野宿者が生活していることが、大阪市としてそんなに恥ず

私は三年前まで調理師として働いていましたが、失業が原因で野宿生活を始めました。万策尽き果てて、飯を食うために止むを得ず、生まれ始めて始めてゴミ箱に手を入れようとしたとき、私がどれほ

今、私は自立しています。自力で稼いでいます。アパートを借りて家賃を払えるほど稼いでいます。生きるために必死だったからこそ、それができたのです。決して好き好んでできることではありません。それでも何とか、廃品回収の仕事しながら食いつないでいました。



多様なひとの集う長居公園テント村

この一年、大阪府が強制排除の嵐を巻き起こしている。野宿者たちは、大阪市内外での排除では、

野宿者の強制排除は行政による殺人行為である。『自立支援』と称し、クモの糸をたらしつるをして、それを

沈黙する労働組合

大阪市の「市政改革」の中心こそ、新自由主義改革そのものである。市バス、地下鉄、図書館、保育所etc...様々な行政サービスを指定管理者制度を経由して民間に切り売りする。生活保護世帯の水光熱費など公共料金の減免措置を廃止にする...そして、労働組合つぶし、部落解放同盟たたきを奇貨として「抵抗勢力」を押さえ込む手法。このような「改革」もまた、「大阪モデル」として他自治体に模倣されるのかもしれない。

新自由主義的「市政改革」の犠牲に

大阪市の「市政改革」の中心こそ、新自由主義改革そのものである。市バス、地下鉄、図書館、保育所etc...様々な行政サービスを指定管理者制度を経由して民間に切り売りする。生活保護世帯の水光熱費など公共料金の減免措置を廃止にする...そして、労働組合つぶし、部落解放同盟たたきを奇貨として「抵抗勢力」を押さえ込む手法。このような「改革」もまた、「大阪モデル」として他自治体に模倣されるのかもしれない。

生きるために必死だった野宿生活

次に、②についてですが、マスコミ報道などでは、私たちが代替住居として自立支援センター入所を勧めてきたのに、いかに「ない」といふこと、いかに「我儘で野宿生活を続けたい」といふように書き立てられている。しかし、これは全くの誤りです。

今、私は自立しています。自力で稼いでいます。アパートを借りて家賃を払えるほど稼いでいます。生きるために必死だったからこそ、それができたのです。決して好き好んでできることではありません。それでも何とか、廃品回収の仕事しながら食いつないでいました。

争議に明け暮れる
一年に

●福岡地区合同労働組合

昨年は、ぎりぎりのところで何とか共謀罪の制定を阻止することができました。

今年は、第二六回全国議院交流会・交流集会を福岡で開催することになりました。

労働現場では、当労組として、久しぶりに解雇争議を抱えることになりました。

今年は、信明商事解雇問題で明け暮れるでしょう。

皆様の変わらぬご支援をお願いします。

勝利判決
勝ち取るぞ

●宮城電気通信産業労働組合

猪突猛進

NTTリストラ反対斗争は、新自由主義に対する戦いです。

自公政権、多国籍資本の横暴と対決する為に企業を超え、国境を越えた闘う労働者の団結と結合を目指します。

NTT不当配転を断罪した九・二九札幌地裁判決に続き、私達の裁判も結審判決を迎えます。勝利判決を断固として勝ち取ります。



迎春
2007

人権 部落解放の
文化の創造を

●福岡市

社団法人福岡人権研究所

旧年中は格別のご厚誼を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、機関誌のリニューアルを行い、より幅広く人権問題に取り組んでまいりました。

本年も、より一層着実な研究を深め、人権・部落解放の文化の創造をめざしていく所存です。

今年も、これまで以上に支援をお願い申し上げます。

創刊三〇周年

さらなる激動の新年

●協同センター・労働情報

昨年夏に七〇〇号を迎えた『労働情報』は、今春には創刊三〇周年を迎える事になりました。これもひとえに皆様方のお力添えの賜物です。

改めて御礼申し上げます。また、二月三日午後三時から、東京ガールデンパレスで、創刊三〇周年記念パーティを開催致します。お忙しいとは存じますが、ぜひご出席下さいますようお願い致します。

文字通り「激動の年」だった〇六年を上回る激動が予想

三才新大統領と国境と民族をこえて革命三代に。さらにボリビア等、米国の「裏庭」で力関係が逆転中。医師三万人による、体制をこえた民衆奉仕の道徳的ヘゲモニーは歴史の快挙です。

私はガン治療六回目。が、公私共に実り多く、靖国問題の講演と原稿は毎月。左の敗北総括―人々の心に響かなかった思想・道徳・政治と運動―戦線アジア主導等―

労働・社会運動のラディカルな再建と市民運動構想力と戦略展開をめざしています。一波は興す万波の波に！

労働者受難の「先駆者」として

●兵庫・成友印刷企画室

関西合同労組成友印刷分会

格差社会とワーキングプア―と残業代ゼロ時代の到来に、いち早く突入していた

日朝関係は冷える所まで冷えたのですから、今からは関係良好化に向かうことを切に願う限りです。

新春を迎え、平素のご厚情を深謝し、皆様のご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

自らの「持ち場」で

●東京拘置所・和光晴生

新年の挨拶を申し上げます。私の控訴審も判決を二月二六日から三月一四日にひかえ、それから上告となつても、年賀状を出せるのはあと一回がいいところです。堀の中を自らの「持ち場」としていきま

す。

いよいよ「二〇〇七年」で

「先駆者」として引き続きがんばりたいと思います。

「じゃんげり」調査に再度アタック

●兵庫・アジアこどもプロジェクト

今年こそ、少しでもいい年にしたいと念じつつ。

昨年「じゃんげり」の調査をする予定が実現できませんでした。気を入れなおして、再度アタックしてみたいと思います。

今年で三一年目

「病者」解放の闘い

●京都市

前進友の会・やすらぎの里

一九七六年に生まれた

団塊老働者

浪働者

牢働者

UNITE!!

公正な平和を

求める闘い

●小菅拘・重信房子

パレスチナの状況は厳しい中でもひき続き公正な平和を求めつづけるでしょう。貴紙の引き続きパレスチナ中東情勢は貴重な情報を提供しており期待しています。今年も又、猪のごとく前向きにまっすぐな志で進んで下さい！発展を祈ります。

私たちの患者会は今年で三一年になります。やはり、病気はつらいです。退院できない《なかま》もいます。

「病気の苦しみよりも《差別》の苦しみから解放されなければならぬ」

これからも、《差別》の苦しみから解放されるという意味での《病者解放》を目指して、微力ながら力を尽くしていきたいと想っています。

どうか今年も皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

【編集部より】

今年も多くの皆さんから年賀状や新年のあいさつをいただきました。

紙面の都合ですべて紹介することはできませんが、紙面を借りてお礼を申し上げます。

今年も共に頑張りましょう！

大阪府議会議員

小沢 福子

〒569-0077 大阪府高槻市野見町四一三九
電話 (072) 675-1181
FAX (072) 675-1180
E-mail: fukuo@herboc.ne.jp

(有)よつ葉ホームデリバリー京阪

代表取締役 横井 隆之

〒614-8142 京都府八幡市下奈良南頭一八番
電話 (075) 971-1550
FAX (075) 971-1550

誰でもひとりでも入れる

北大阪合同労働組合

豊中市岡上の町二丁目五二八二F
電話 (06) 684-6183
E-mail: kitagouchi@cream.plala.or.jp

共に生き働く場
ぶくぶくの会 馬垣 安芳

亀岡市議会 しのはら 咲子

プロク
「旗旗」 草加 耕助

宝塚市 大島 淡紅子

農が世界を
展 ぐ やぎさん農園

げます(敬称略にて失礼します)。
今年も人民新聞をよろしくお祈いします。

